

令和4年度 第1回津奈木町総合教育会議録

1 期 日 令和5年3月1日（水） 開会 午後1時30分
閉会 午後3時00分

2 場 所 津奈木町役場2階会議室

3 出席者（5名）

津奈木町長 山田豊隆、教育長 塩山一之、
教育委員 林田雄二、雑賀優美、福田征起、瀧上幸哉

4 欠席者

なし

5 出席事務局職員

教育課長 岡松辰哉
総務課長 吉澤信久、総務課 永松伸也

6 出席を要請し、出席した者

なし

7 傍聴者

なし

8 会議内容

○教育委員会からの報告

○議題

(1) 意見交換について

ア 津奈木幼稚園の跡地利用について

イ 津奈木小学校校舎の建て替えについて（次期振興計画への掲載等）

(2) 令和5年度津奈木町教育概要について（案）

(3) その他

○その他

9 会議録

吉澤課長：みなさん、こんにちは。本日はお忙しい中に集まっていただきありがとうございます。只今から令和4年度第1回津奈木町総合教育会議を開催します。町長挨拶をお願いします。

町長：みなさん、こんにちは。本日は令和4年度第1回の総合教育会議ということで参列していただきまして大変ありがとうございます。日頃から皆様には、教育関係の色々なご指導をしていただいていることに関しまして、感謝申し上げます。町の教育関係につきましても、家庭を基本として、また地域社会それと学校と行政が一体となりながら、津奈木町でも学校教育あるいは社会教育の充実を図っているところでございます。皆様のご協力によりまして、

いろいろな問題がありますがけれども解決していく段階にあります。そうしてこの津奈木町を、私の町作りとしましては、キラリと光る町作りということで、他の行政にない教育、絵画等のアートで町づくりをやっているという1つの基本方針もありますので、それに向けまして皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

吉澤課長：それでは早速、議題に入っていきたいと思います。進行を町長お願いします。

●議題 (1)意見交換(要望等)について ア津奈木幼稚園の跡地利用について

町長：それでは、次第に沿って進めさせていただきます。3の議題といたしまして(1)意見交換ということ要望等についてア、イがございますので、まず最初にア津奈木幼稚園の跡地利用について協議をしたいと思います。教育委員の皆様からどういう意見があるのかを聞きたいと思いますので、どうぞ意見等を出していただければと思います。今年の3月で幼稚園が廃園になります。その跡地利用をどうするのか、今町としてもいろんな情報が入ってきていますけれども、議会でも検討をされているようでございますけれども、まだまだこれといった案が出ておりません。どんなメニューがあるのか、検討していただければと思います。

福田委員：お尋ねします。幼稚園の跡地利用について、今後、民営化される保育園の場所が今の所でよろしいのかどうかです。おそらく民間の方としては、建て替えを要望してくるんじゃないかと思うのですが、その場合は、町としては、ある程度は経費を負担してやらないといけないんじゃないかと思います。幼稚園の跡地とゲートボール場を一体化して、こども園的なものにできないかなと思います。決めるのは民間さんが決められると思いますが、1つの候補としてそういうやり方もあるんじゃないかなと思います。もちろん現在、通わされている保護者の皆さんの意向も過分にはあると思いますけれども、保育園も老朽化していますので、1つの代替地として考えていただければと思います。

町長：保育園がどのような運営をさているのかも大事だろうと思います。現在は2か所の保育園を使い分けて保育されるのか、水俣の保育園との関係もありますし、そこは運営方法がまだ見えてません。こちらとしては、民間に委託するまでは今の保育園の補修とかはやりたいと思っています。また新たに保育園を建て替えとなると、国の補助とかいろいろとございますので、そういうのも利用できればと考えています。議会でのシルバーセンターの運営など様々なご意見があっています。跡地を保育園にするのかというのは、1つの候補としてお聞きしたいと思います。

福田委員：もう1つあるのですが、給食センターを広げてはどうかと思います。

町長：考えとしてそれもアリかなと思います。

林田委員：設備としては、閉園する幼稚園と現在ある保育園、どちらが設備の評価としてはいいのですか。立地条件などもあります。

町長：保育園と幼稚園とでは教育の違いもあります。未満歳児の教室が必要ですし、保育士も0歳時に3人に1人付けないといけないし色々な条件が違います。給食の提供の設備も幼稚園にはございません。

林田委員：取り壊すという選択肢はないのですか。

町長：まだそこまでは、私としては考えておりません。

林田委員：認定こども園とかそういう風にされるんですか。

町長：それは民間にお任せします。今回はあくまでも幼稚園の跡地をどうするのか例えばシルバー人材の事務所や企業の事務所にするとか、色々と選択肢はあると思います。

林田委員：一般公募をするとか。

町長：それも一つの手でしょうね。赤崎小学校も一般公募した経緯がございます。

福田委員：アトリエのように使っていただければと思いますけども。

町長：少子高齢化になっておりますので、その他に何か使い道があればですね。次の小学校校舎の建て替えについてもですが、現在の場所なのか違う場所なのかでも話が違ってきます。

福田委員：現実、小学校の建て替えも中学校の方に引っ越ししていただくのがいいのか。中学校も教室は空いてますので。

林田委員：人口減少に自治体も直面しておりますけれども、そうなった場合にはいろんな問題を集約すればいいですよ。というのは、保育園、小学校、中学校を同じ場所にしなくても近くに寄せてしまうとかですね。

町長：小さな町で小学校、中学校、保育園、ばらばらの施設ですから、全部統一してしまって運動場を使うとか、そういう考えもあります。地区の方からは地区が疲弊してしまうというような意見も強いです。平国小学校、赤崎小学校が統合したときには、結構反対意見も出ました。

福田委員：小学校が各地区にあらうがなかろうが出る人は出ますし、便利がいいところに引っ越される人は引っ越されますから、残ったからと言って児童生徒数が減ったとか増えたとかいう話ではないと思います。

●議題（1）意見交換（要望等）について イ津奈木小学校校舎建て替えについて

町長：今、小学校が50年以上経っています。もう建て替えの時期がそろそろで、特定するわけではないのですが、今言われた集約した方がいいという意見、皆さんの意見としてはそういう意見のようでございます。

福田委員：結局、今の場所に建て替えるとしても、一旦、中学校の方に移動しなければいけないことはあります。取り壊すのか、プレハブでいいのか。

林田委員：建て替えというのは、耐年数とかを考えても喫緊の課題なんですか。

町長 : もうある程度の鉄筋コンクリート造というのは50年、大体そういう時期が来てます。まだ耐震とかやりながら大丈夫でしょうけど、ただ外壁の化粧とかは見苦しくなっているというのは感じます。また、防水関係もやらなければならぬと思います。

町長 : 教育委員会から建物の経過、児童生徒の推移の資料が配っておりますので説明をお願いします。

岡松課長 : (資料内容説明)

○令和11年度までの児童数・生徒数の推移

○津奈木小学校校舎の主な概要(校舎、体育館、プール、大規模改修など)

○津奈木中学校校舎の主な概要(校舎、体育館、プール、大規模改修など)

○一勝地小学校(球磨村)の主な概要(鉄筋2階建)

町長 : この例えば大規模改修やってから何年経過というのは関係あるのですか。

岡松課長 : 一勝地小学校の総事業費の中に耐震度調査を含まないって書いてあります。耐震度調査を行わないといけません。耐震度のある建物はこの交付金には該当しなくなる可能性があるということで、耐震化事業を平成22年に行っておりますので今は基準内と思われます。それがどれくらい老朽化と関係があるのかとはっきりしたところは分かりません。

町長 : 以前、私が赤崎小学校を建てるとき耐震度調査、危険度調査をして、補助金が違っていたので3分の2と3ぶんの1と分けて作った記憶があるので、耐震が良ければ、危険住宅ではないということで補助金が付き難い感じになると思います。

岡松課長 : この一勝地小学校も危険改築と不適格改築という事業になっております。

町長 : 危険改築が高いのでは。

岡松課長 : 2億4,800万ですが、危険改築の方が2億2,000万、不適格改築の方が2,700万となっております。危険の方が非常に多いです。

町長 : そこを含めながら考えていかないと財政規模の基金の積み立てとか公共施設の改築に伴う基金を財政的に積み立てていかなければいけないので、それは財政計画と振興計画が絡んできます。非常に大きな金額なので。そろそろ大規模改修を終えて、危険・不適格になっていくようであれば検討していかなければいけない、私としてはそういうふうに思っていますけど、それがいつになるのかまだ見えない面があります。今度の振興計画にある程度出していただいて目標にしていただければと思います。

岡松課長 : 建て替えや改修などの財源は県の施設課と一緒に精査していきたいと思います。

町長 : 先ほど林田委員がある程度集約した方がいいのではないかと意見もいただきました。なかなか即結論がでるわけではありませぬので、将来的にこのように計画していきたいと皆さんに了承していただきたいと思います。一応、幼

稚園と小学校、中学校も含めながら取り扱っていきたいと思います。意見交換はよろしいでしょうか。

それでは(2)令和5年度津奈木町教育概要についてを議題といたします。

●議題 (2)令和5年度津奈木町教育概要について

教育長 : (資料内容説明)

【本年度の学校・生涯教育の報告】

(1) 幼稚園について

- ・学習発表会

(2) 小学校について

- ・チャレンジマラソン ・いじめ問題 ・卒業式 ・来年度学級編制

(3) 中学校について

- ・卒業式 ・部活動中止 ・いじめ問題 ・英語検定 ・漢字検定
- ・来年度学級編制

(4) 学校の働き方改革について

- ・職員の超過勤務時間

(5) 生涯学習について

- ・町民講座 ・B & G活動 ・町民体育祭 ・中学校の部活の在り方
- ・施設の利用方針

【令和5年度津奈木町教育概要の主なポイント】

(1) 学校教育について

- ① 津奈木幼稚園が令和4年度末で閉園となるので、本町の就学前教育機関は、保育園2つのみとなったこと。したがって、就学前教育と学校教育の繋ぎは、保、小中連携の組織となる。
- ② 本町の最大の課題は学力向上である。そのためには小学校の学力向上を更に進めたい。そこで、小中学校で学力向上の課題を共通認識のうえ、共通実践していきただので、小中交流の協議組織をつくる。
- ③ A L Tの活用について
- ④ G I G Aスクール構想によるI C T機器活用による学校情報化優良認定を土台に、タブレット、デジタル教科書の効果的な活用を研究する
- ⑤ 人権感覚の醸成に努める。特に、性の多様化。L G B T Qの理解と啓発に努める(児童生徒・教師・保護者)
- ⑥ 中学校(小学校も必要であれば)校則の見直しを生徒・教師・保護者等で行う
- ⑦ 研究発表会
- ⑧ ウイズコロナ下での健康維持・増進への対応と運動技能・量の確保
- ⑨ 中学校部活動の地域移行を見据えて中学校と教育委員会で協議し、推進組織をつくる

⑩ 学校の働き方改革について

(2) 生涯学習について

①町民講座の充実

②人権教育関係の研修、広く一般の方々の啓発の機会の提供

③中学校の部活動の地域移行に伴う組織づくり教員外指導者の発掘

④B & G 関係「特A評価」維持のための事業計画・実践

⑤子どもたちの健全育成を推進する事業計画・実践

町長 : 今、説明がありました本年度の報告と来年度の教育概要について、詳しく説明がありました。これはある程度、学校側と打ち合わせされながら作られているのですか。

教育長 : もちろん教育委員会会議でも把握をしてある程度了解を得て、総合教育会議で了解を得たうえで学校の方に伝えることとしています。

町長 : 今の中で、何かお尋ねになりたいことはございますか。

福田委員 : 4月以降の学校行事でマスクは要らないということは、今度の入学式に関してもマスクは要らないのですか。来賓の皆さんは呼ばれるのですか。

教育長 : 今度の入学式までは、来賓は呼びません。と言うのもそろそろ案内を出すんですが、まだ不確かな状況であります。5月8日以降は、何もなければ通常に戻るということもあります。あくまでも3月13日からは原則マスクは個人の判断に委ねるとなっています。
役場の方から何か要望はないですか。

町長 : 教育概要があまりにもまとまっているので。

教育長 : やっぱり町としても子供たちの将来のことを考えて学力を向上させないといけないと思っていますので、小学校から底上げしていきたいと思っています。
基礎的な学習の理解ができていない子どもたちを個別で見っていく必要があります。

福田委員 : 今はコロナで対話型の練り合いができなかったのも一つの原因としてあるのではないのでしょうか。

教育長 : 今、学校では基礎基本のところと対話の部分と力を入れています。だからといって今の時代というのは、いろんな学び方を学ばせないといけないのでその度合いをどうするかですね。

町長 : 例えば野球のように素振り100回して、ヒットが打てるか。バットに当たる確率をどのように上げるかです。3割打てるか。いかに自分のモノにしていくかなんです。分かりだすと伸びていきますので、それまでの努力をいかにさせるかです。

林田委員 : いずれにしても学習する習慣を身に着けさせることが必要となってきます。

町長 : そろそろ時間となりましたので。

雑賀委員：すみません。去年、佐敷小学校が創立 150 周年ということで新聞に載っております、津奈木小学校はどうなんだろうと思って調べたら、ホームページに明治 8 年 10 月に創立されたと書いてありました。佐敷より 3 年遅くなるので 2 年後の 10 月が 150 周年になるそうです。佐敷は小学校でそんなに規模は大きくないですがされていたので、そういうのをされる予定があるのか伺いしようかなと。八代の方でも 1，2 年前から大きな看板を立てられてるみたいで、まだ先ではあるのですが何かされるのかなと思ひまして。

福田委員：小学校の校門のところに 100 周年の記念碑が建っています。その時は記念式典みたいなことはされたと思います。

雑賀委員：どこの学校も明治からの創設でそのような時期なのかなと思っています。

町長：何かすべきかとは思ひます。教育委員会の方で調べてみてください。他になれば終了します。

吉澤課長：長時間にわたりありがとうございます。これをもちまして、令和 4 年度第 1 回総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でした。